

別紙

**平成24年度教育委員会事務事業  
個別評価表**

平成25年12月  
野辺地町教育委員会

平成24年度教育委員会 事務事業・評価表					
A=期待以上の成果が上がっている					
B=期待通りの成果が上がっている					
C=概ね期待通りであるが、なお改善の余地あり					
D=早急に改善を要する。(廃止を含む)					
NO	事務事業名	主管課	第一次評価	第二次評価	評価委員による総合評価
1	教育委員会定例会の開催	学校教育課	B	B	情報公開を積極的にする方向で進めて欲しい。
2	町長と教育委員・学校長との懇談	学校教育課	C	C	年度当初と年度末の2回実施したほうが良く、意見交換にもう少し時間を取るべきと思う。
3	教育広報の発行	学校教育課	B	B	教育に関する情報を年度当初と年度末に2回発刊しているが、年度内2回であれば年度初めと年度末ではなく、発刊時期を4月と9月頃に工夫を要する。
4	教育委員の学校訪問・各種行事出席	学校教育課	C	C	教育委員が定例行事として学校訪問をすることにより、子どもの様子・学校の様子がわかり、教育委員会の指導行政に役立つものと思われる。
5	町教育行政施策の評価の実施(事務評価委員)	学校教育課	B	B	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づく事務事業の評価実施であり、要綱整備は実施済のため、評価事務は、実施されている。
6	中学校改築事業	学校教育課	A	A	野辺地中学校の新校舎完成による教育効果に期待したい。
7	学校施設整備(修繕)	学校教育課	B	B	教育施設の維持管理及び修繕工事を実施しているが、学校現場を訪問した結果、もう少し必要最小限度の予算が必要と考える。特に突発的な事業に対応する予備費を計上したほうが良い。
8	教育振興会事業補助	学校教育課	B	B	教育委員会、学校、地域が相互に連携・協力をし教育振興会を組織し、各部会組織のもと事業を実施しているが、特に小中連携事業の予算は、配分方法の改善を要するところがある。
9	スクールサポーターによる学校支援事業	学校教育課	B	B	子どもたちへの指導方法について、習得するための研修会を実施し成果が上がっている。
10	学校評議員による学校評価の実施	学校教育課	C	C	学校行事等に参加し、学校に対し意見等を取りまとめしているが、学校評議員として積極性に欠ける学校もあることから、委員の選定方法は、検討すべきである。
11	教師用パソコン更新事業	学校教育課	B	B	今後も情報資産及びUSBメモリーも含めセキュリティーガイドラインに沿って、安全管理を徹底して欲しい。

平成24年度教育委員会 事務事業・評価表				A=期待以上の成果が上がっている	
				B=期待通りの成果が上がっている	
				C=概ね期待通りであるが、なお改善の余地あり	
				D=早急に改善を要する。(廃止を含む)	
NO	事務事業名	主管課	第一次評価	第二次評価	評価委員による総合評価
12	就学援助費事業	学校教育課	B	B	経済的理由による就学困難な家庭への援助の実施事業であり、継続が望まれる。 なお、要綱の整備をすべきである。
13	学校備品整備事業(一般備品、図書、理科教材、エネルギー教材)	学校教育課	B	B	学校備品の購入は年度初めに早急な発注と、各学校の適正な管理による備品台帳の確認・整備を急ぐこと。 なお、学校との連携を密に取り、誤りがないよう指導する必要がある。
14	学校事務共同実施事業	学校教育課	B	B	複数の学校事務職員が共同で事務処理を行い、効率化、適正化が図られ、県費により事務職員が1名配置されており、今後も継続を望む。
15	中学校理科教育支援員配置事業	学校教育課	B	B	国の緊急雇用創出事業を活用し、理科の授業の充実を図るために支援員を配置しているが、継続を望む。
16	小・中学校の学力検査の実施	学校教育課	B	B	学力検査の結果を分析し、授業の改善に役立ち効果を上げていることから、継続が望まれる。
17	幼・小・中・高連携事業	学校教育課	B	B	幼児、小学校、中学校教育の垣根を越た事業を実施しており、更に高校も加え事業の成果が上がっている。
18	幼稚園就園奨励費事業	学校教育課	B	B	私立幼稚園の保護者の経済的負担を軽減する事業であり、継続を望む。
19	スクールバス運行事業	学校教育課	B	B	有戸地区からの若葉小学校・野辺地中学校の児童・生徒の輸送であり、今後も継続を望む。 なお、業者との連絡を密にする必要がある。
20	ふれあい教育の日啓発・実践事業	学校教育課	B	B	毎月20日を家族のふれあいを深めることを目的に「ふれあい教育の日」と定めており、町民への普及のため実施している。しかし、さらにPRを検討する必要がある。
21	学校保健会活動費補助	学校教育課	B	B	学校保健会研修会の開催において保護者の参加が年々少なく、参加を工夫した研修会を考えてほしい。
22	児童生徒及び教職員健康管理事業	学校教育課	B	B	学校保健法に基づき、児童生徒の各種健診を実施しており、今後も継続を要すると考える。

平成24年度教育委員会 事務事業・評価表				A=期待以上の成果が上がっている	
				B=期待通りの成果が上がっている	
				C=概ね期待通りであるが、なお改善の余地あり	
				D=早急に改善を要する。(廃止を含む)	
NO	事務事業名	主管課	第一次評価	第二次評価	評価委員による総合評価
23	大会派遣費補助事業	学校教育課	B	B	一定の基準により実施されているが、今後はより明確な派遣要綱を整備すべきである。
24	学校・家庭・地域連携協力推進事業	学校教育課	B	B	学校・家庭・地域が協力し児童生徒の登下校の安全を図っており、見守り隊の活動は素晴らしいものがある。コーディネーター等の更なる活動に期待したい。
25	学校給食共同調理場管理運営委員会の開催	学校給食 共同調理場	B	B	学校給食共同調理場の管理運営について、適正かつ円滑に実施されている。
26	給食費の徴収対策(子ども手当・ふれあいカード・参観日等での説明)	学校給食 共同調理場	C	D	引き落としや具体的な徴収方法を検討すべきである。なお過去の徴収不可能な物については、法的な整理を検討すべきである。
27	給食の充実(非常食・食育指導、バイキング給食、愛情弁当の日)	学校給食 共同調理場	B	B	児童生徒に食事の正しいありかたを体得させるために、栄養士による食育指導・バイキング給食等工夫し実施しているので、継続を望む。
28	教育相談員事業	学校教育課	C	C	相談件数は、若干増加したがなお、今後広報等により改善の余地あり。
29	生徒指導委員会事業の充実	学校教育課	B	B	生徒指導委員会の更なる充実のため、各学校個々の指導について強化を望む。特に、ネット犯罪防止についての対応を強化すべきである。
30	職場体験事業の支援	学校教育課	C	B	キャリア教育を目指し、町内事業所において職場体験を実施している。社会に出てからの実践に役立つ経験をしたことにより、成果が表れたと思われる。さらに、小学校の職場体験も検討して欲しい。
31	重度障害児通学支援事業	学校教育課	B	B	重度障害児の施設通学のための送迎として、タクシーに委託し保護者の負担軽減が図られている。今後も継続を望む。
32	野辺地町就学指導委員会事業	学校教育課	B	B	心身に障害のある幼児・児童・生徒の就学における状況調査の実施であり、就学先の決定に必要な場であり適切に実施されているものと思われる。
33	ことばと心を育てる親の会活動補助	学校教育課	B	B	障害のある子どもを持つ保護者と協力し、親子の親睦を深めるなど多彩な事業に取り組んでいることから継続を望む。

平成24年度教育委員会 事務事業・評価表		A=期待以上の成果が上がっている B=期待通りの成果が上がっている C=概ね期待通りであるが、なお改善の余地あり D=早急に改善を要する。(廃止を含む)			
NO	事務事業名	主管課	第一次評価	第二次評価	評価委員による総合評価
34	子ども達・一般町民の英会話能力向上支援事業	学校教育課	B	B	小学校児童の英会話能力向上支援事業を、外国人英語指導者により実施したが、各学校と連携を密にして効率的な時間割を設定・工夫する必要がある。
35	教育振興会職員研修費補助	学校教育課	B	B	教育振興会において、各学校ごとに教職員の研修会に補助し実施しており、今後も継続すべきと思う。研修費で安易に図書購入することは、検討すべきである。
36	北部上北連絡協議会研修	学校教育課	C	C	北部上北3町村の教員が一緒に研修し成果を上げているが、研修の内容等については今後改善が余地がある。
37	青少年教育推進事業(ふれあい通学合宿)	社会教育・スポーツ課	B	B	小学生を対象に宿泊をして通学し、親元からの自立心の養成や団体生活を通し助けあい、仲間との交流を図っているが、参加者を増やすことに工夫が必要と思われる。
38	家庭教育推進事業	社会教育・スポーツ課	B	A	幼児・児童の保護者を対象に、子どもの発達段階における課題を幼児期・学童期の各種講座を実施し親の教育力の向上にも効果があった。
39	女性学習講座の開催	社会教育・スポーツ課	B	B	女性の自主的な学習意欲を促進するために、これまで永年継続している事業であり、毎回多彩な講師により講座を実施しており、今後も工夫し継続を望む。
40	にこやか生きがい教室の開催	社会教育・スポーツ課	A	A	高齢者の自主的な学習意欲を促進するために、これまで永年継続している事業であり、毎回多彩な講師により講座を実施しており、今後も工夫し継続を望む。
41	在学青年(高校生)ボランティア活動	社会教育・スポーツ課	B	B	町内の2高校を対象に、ボランティア活動として町が実施する各種行事に協力していただき、今後も継続を望む。
42	町文化賞・教育委員会文化賞の表彰	社会教育・スポーツ課	A	B	文化活動において優れた業績をあげ、町の文化振興に寄与した方々の表彰であるが、今後選考基準等の改善が必要と思われる。
43	ハッチョウトンボ生息域の保護と活用	社会教育・スポーツ課	C	B	生息域の保護のために専門家の指導を受けると共に、生息地での観察会を実施しているが、更に効果のあるPRに努める必要がある。また、町内の指導者の育成を検討すべきである。
44	多様な生涯学習機会の拡充と充実	社会教育・スポーツ課	B	B	町民の自主的な学習意欲を促進するために、これまで永年継続している事業であり、毎回多彩な講師により講座を実施しており、今後も工夫し継続を望む。

平成24年度教育委員会 事務事業・評価表				A=期待以上の成果が上がっている	
				B=期待通りの成果が上がっている	
				C=概ね期待通りであるが、なお改善の余地あり	
				D=早急に改善を要する。(廃止を含む)	
NO	事務事業名	主管課	第一次評価	第二次評価	評価委員による総合評価
45	若者講座の開催	社会教育・スポーツ課	D	D	廃止し、新たな企画を検討すべきである。
46	各種社会教育団体の育成補助	社会教育・スポーツ課	B	B	各種社会教育団体の活動を育成・推進するために補助金を交付しているが、適正な運用・管理により更なる効果を期待する。緊急メールシステムは、効果があった。
47	成人式開催	中央公民館	B	B	新成人の門出を祝うために開催しているが、年々対象者が減少する中、式典の内容がマンネリ化していると思われ、時代に合った式典の内容を検討すべきと思う。
48	文化少年団活動実施	中央公民館	B	B	学校教育活動以外において、青少年の文化活動と健全育成を図る活動であり、少子化により団員は減少傾向にあるが、今後も継続を望む。
49	施設(馬門公民館・青少年ホーム)講座の開催	社会教育・スポーツ課	C	B	中央公民館の分館的施設の学習講座であり、これまで内容等を工夫しての開催であるが、参加者の増加について内容等も含め改善の必要あり。
50	ピコロ・ぴよぴよクラブ支援事業	中央公民館	B	B	保育園等就園前の在宅での子育て者の支援であり、子育てに関する情報交換・親子の交流を図っており、期待どおりの成果がある。今後も継続を望む。
51	みんなの教室開催支援	中央公民館	B	B	公民館活動における町民の学習意欲に基づく講座・教室の開催であり、34講座・受講者数504名・開催回数605回と毎年成果が上がっている事業であると思う。
52	各世代に対応した図書館事業の実施	図書館	B	B	各世代に合わせた公民館事業のうち、子ども対象のブックスタート・子ども司書養成講座など工夫が見られるが、中学生・成人向け事業の開催が望まれる。
53	図書館サークル・おはなしボランティアの育成	図書館	C	B	図書館機能の充実のために、図書館サークル「おはなしボランティア」の育成を行っているが、養成講座等の開設をするなど改善が望まれる。
54	図書館だよりの発行 図書館HPの充実	図書館	B	B	図書館の情報提供として、各種事業や読書活動の推進PRを「図書館だより」として発行しているが、今後も工夫し継続を望む。
55	社会教育委員会議の実施	社会教育・スポーツ課	C	B	社会教育推進体制の充実のため、条例で定められた委員会議であるが、委員の意見、助言等を事業に反映させており、一定の成果が上がっていると思われる。

平成24年度教育委員会 事務事業・評価表				A=期待以上の成果が上がっている	
				B=期待通りの成果が上がっている	
				C=概ね期待通りであるが、なお改善の余地あり	
				D=早急に改善を要する。(廃止を含む)	
NO	事務事業名	主管課	第一次評価	第二次評価	評価委員による総合評価
56	馬門公民館運営審議会議の実施	社会教育・スポーツ課	C	B	社会教育推進体制の充実のため、条例で定められた委員会議であるが、委員の意見、助言等を事業に反映させており、一定の成果が上がっていると思われる。
57	勤労青少年ホーム運営委員会の実施	社会教育・スポーツ課	C	B	社会教育推進体制の充実のため、条例で定められた委員会議であるが、委員の意見、助言等を事業に反映させており、一定の成果が上がっていると思われる。
58	青少年育成町民会議の実施	社会教育・スポーツ課	C	B	地方青少年問題協議会法による会議の実施であり、警察署・学校・防犯協会等が情報交換し青少年の健全育成に努めている。
59	青少年健全育成推進会議の活動支援	社会教育・スポーツ課	A	A	県より委嘱を受けた健全育成推進員の活動であり、巡回活動や有害図書等の環境浄化調査を実施しているが、小中高との連携と会議等の持ち方について工夫が必要と思われる。
60	中央公民館運営審議会議の実施	中央公民館	B	B	社会教育推進体制の充実のため、条例で定められた委員会議であるが、委員の意見、助言等を事業に反映させているが、出席者が少なく出席できる委員を再考すべきである。
61	図書館協議会の実施	図書館	C	B	社会教育推進体制の充実のため、条例で定められた委員会議であるが、委員の意見、助言等を事業に反映させており、一定の成果が上がっていると思われるが委員の再考をすべきである。
62	学校や各種団体との連携による読書普及と推進	図書館	B	B	読書に関する多彩な事業の開催であり、行事参加者の満足度を増すような事業展開と、図書の充実及び貸出率のアップを図ることに期待する。
63	子どもの読書活動・家読(うちどく)推進活動の充実	図書館	C	B	読書に関する多彩な事業の開催であり、行事参加者の満足度を増すような事業展開と、図書の充実及び貸出率のアップを図ることに期待する。
64	文化財保護審議会議の開催	歴史民俗資料館	B	B	条例で定められた委員会議であるが、町の文化財指定・文化財冊子の編集等委員が中心となり実施しているが、調査が十分できていなかったとのことであり、今後十分な調査を進めていただきたい。
65	文化財紹介冊子の増刷	歴史民俗資料館	B	B	県の支援事業による、町の歴史文化をわかりやすく解説した冊子「あるくみるなっとく野辺地の自然と文化」を200部発行したが、予想以上に好評とのことであり、増刷が望まれる。
66	歴史民俗資料館展示内容の刷新	歴史民俗資料館	C	B	町歴史民俗資料館には展示物に重要文化財や県重宝があり、徐々にではあるが展示内容が充実してきており、今後展示内容の更なる工夫が望まれる。
67	特別展「復元北前船みちのく丸の建造と帆走パネル展」「明治天皇奥羽御巡幸と野辺地」ミニ特別展「名誉町民その1松本彦次郎展」	歴史民俗資料館	B	B	町歴史民俗資料館には展示物に重要文化財や県重宝があり、徐々にではあるが展示内容が充実してきており、今後展示内容の更なる工夫が望まれる。

平成24年度教育委員会 事務事業・評価表					A=期待以上の成果が上がっている
					B=期待通りの成果が上がっている
					C=概ね期待通りであるが、なお改善の余地あり
					D=早急に改善を要する。(廃止を含む)
NO	事務事業名	主管課	第一次評価	第二次評価	評価委員による総合評価
68	古文書解読講習会・歴史講座の開催	歴史民俗資料館	B	B	町内歴史関係団体と文化財に関する講習会・講演会を共催し普及を図っているが、参加者が固定化・高齢化しつつあり、広報活動の工夫を希望する。
69	板状立脚土偶づくり体験活動	歴史民俗資料館	B	B	野辺地小学校の生徒が土偶づくりを実施した。子どもには、良い貴重な体験になった。継続を検討して欲しい。
70	県天然記念物の説明板板面更新	歴史民俗資料館	B	B	今後このような整備を進めて欲しい。
71	県史跡の維持管理	歴史民俗資料館	C	C	草刈り作業が間に合わず、景観を損ねる。
72	スポーツ推進委員会議の開催	社会教育・スポーツ課	B	B	スポーツ推進員の活動の機会を増やすべきである。
73	野辺地町スポーツ賞、教育委員会スポーツ優秀賞の表彰	社会教育・スポーツ課	C	C	スポーツ活動において優れた業績をあげ、町のスポーツ振興に寄与した方々の表彰であるが、今後表彰規程等の改善が必要と思われる。
74	健康ウォーターマラソンスタンプラリーの開催	社会教育・スポーツ課	C	B	健康増進と特に冬期間の運動不足解消を目的に事業を実施しており、期待通りの成果が上がっていると思われる。
75	町民スポーツフェスティバルの開催	社会教育・スポーツ課	B	B	生涯スポーツの普及のために、第2回町民スポーツフェスティバルが開催され、今後も継続を望む。
76	スポーツ少年団への支援と育成	社会教育・スポーツ課	B	B	10団体から11団体に増加。スポーツ指導員の増加を期待したい。
77	第26回町営球場開設記念中学校野球大会支援	社会教育・スポーツ課	B	B	当町を含む上十三地域の中学校の参加により、春先最初の中体連を前にした大会であり、これまで25回継続して実施している。期待以上の成果があると思われる。
78	ジュニアスポーツ教室の開催	社会教育・スポーツ課	B	B	青少年スポーツの振興を図るために、体育協会各単位団体にジュニアスポーツ教室をお願いしており、希望する子どもたちが各競技の初歩的技術・知識を身につけることができることから継続を望む。なお、高校生の活用も検討して欲しい。



平成24年度教育委員会 事務事業・評価表				A=期待以上の成果が上がっている	
				B=期待通りの成果が上がっている	
				C=概ね期待通りであるが、なお改善の余地あり	
				D=早急に改善を要する。(廃止を含む)	
NO	事務事業名	主管課	第一次評価	第二次評価	評価委員による総合評価
79	第43回青森県小学生スキー大会等の開催	社会教育・スポーツ課	B	A	青森県スキー連盟・教育委員会が主催し、今年43回の開催であり県内の小学生の県大会であることから、町をあげて実施している。今後も継続を望む。
80	水泳教室の開催	社会教育・スポーツ課	A	A	幼児・児童を対象に、スイミングクラブの指導者の指導の下、前期と後期の2回教室を開催し、定員を超える申し込みがあることから、期待以上の成果があった。今後定員を増やし継続を望む。
81	第20回青森県民駅伝大会選手強化支援	社会教育・スポーツ課	D	C	県内全市町村の参加による県民駅伝競走大会が20回を数え、これまで上位をキープするものの、未だ優勝がなく今後更に選手育成強化を図っていただきたい。
82	第35回上北郡総合体育大会参加支援	社会教育・スポーツ課	B	B	町体育協会が中心となり、大会参加における町としての支援・協力を行っている。今後更なる継続を期待する。
83	第67回青森県民体育大会参加支援	社会教育・スポーツ課	B	B	町体育協会が中心となり、大会参加における町としての支援・協力を行っている。今後更なる継続を期待する。
84	町体育協会活動補助	社会教育・スポーツ課	B	B	町体育協会の活動に対し、町のスポーツ振興に重要な役割を持つ団体であり、各単位団体の大会派遣費及び事業費等を含めその一部の補助を実施しており、一層の活動を期待する。
85	スポーツカレンダー発行	社会教育・スポーツ課	B	B	町のスポーツ情報の充実のために、年間のスポーツ行事の一覧とスポーツ施設の情報を掲載したカレンダーの毎戸配布を実施している。他町村では実施していないようであり、継続を望む。
86	各社会体育施設修繕	社会教育・スポーツ課	B	B	町の社会体育施設整備について、各施設の老朽化が進み補修工事・修繕費の増加が著しく、今後計画的な改修が望まれる。また、予備的な予算措置を講じておく必要がある。







